

1. 件名：福島第一原子力発電所における建屋滞留水中の核種除去方法に係る面談
2. 日時：令和3年1月28日（木）16時05分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官（テレビ会議システムによる出席）

岩永企画調査官、知見主任安全審査官、田上係長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

本社

担当1名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 担当1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、建屋滞留水中の核種除去に向けた検討状況について資料に基づき以下の説明があった。
 - 2号機原子炉建屋から採取した水中に粒子状で存在する核種の粒径分布及び元素分析の結果
 - 分析結果から核種は多くが数 μm 以上の粒子状で存在しており、フィルタにより除去することが可能であると想定している
 - 今後、1及び3号機の水も分析し、知見を拡充していく
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下の内容について説明を追加し、年度内に特定原子力施設監視・評価検討会において説明することを求めた。
 - 核種の化学形態及びその安定性
 - イオン状で存在している核種の量
 - プロセス主建屋等の滞留水中の核種の処理方針等

6. その他

資料：核種除去に向けた検討状況のご報告[東京電力]